

文化庁文化芸術振興費補助金（舞台芸術創造活動活性化事業）
音阿弥生誕六二〇年

京都観世会九月例会〈其の一〉

平成30年9月8日（土）午後1時開演（正午開場）



曲舞から能へ

〈お話〉沖本幸子

東岸居士

〈能〉

河村晴道

山姥

〈能〉

古橋正邦

白頭

主催 公益社団法人 京都観世会



会場 京都観世会館

〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町44
(東山仁王門東入)

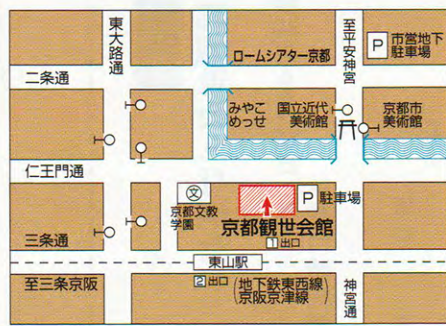
お問合せ・お申込み ☎ 075-771-6114

WEBサイトの公演情報からご予約ができます
<http://www.kyoto-kanze.jp>

チケットぴあでのご購入ができます
Pコード：482-846

前売券 (1階当日指定席) 6,000円
当日券 (1階当日指定席) 6,500円
学生券 (2階自由席) 3,000円

京都観世会館案内図



◆京都観世会館へは
J R京都駅から —
市バス[5] 100で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車
(乗車時間約30分)
地下鉄烏丸線「烏丸御池駅」で東西線乗り換え
「東山駅」下車 (乗車時間約20分)
阪急河原町駅から
市バス[31] [46] [201] [202] [203] [206]で
「東山仁王門」下車 (乗車時間約15分)
京阪三条駅から
市バス[5]で「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車
(乗車時間約7分)
地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約1分)
J R二条駅から —
地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約8分)
山科・醍醐方面から —
地下鉄東西線で「東山駅」下車 (乗車時間約9～17分)
地下鉄東西線「東山駅」から —
徒歩約5分
◆東隣に有料駐車場(約20台)がございます。

音阿弥生誕六二〇年
京都観世会九月例会(其の一)

曲舞から能へ

(お話)

「幻の曲舞」

沖本幸子

(能)

東岸居士

東岸居士 河村晴道

旅人 福王知登

大鼓 河村 大
小鼓 大倉源次郎

笛 竹市 学

間 都ノ者 山口耕道

休憩二十分

歌

(仕舞)

占クセ 万クセ

深野貴彦
片山伸吾

(三時頃)

百万山姥 大江泰正

(能)

山姥

山姥 古橋正邦 従者 小林 努

白頭 都ノ者 原 陸

間 里人 茂山忠三郎

大鼓 白坂保行
小鼓 吉阪一郎

太鼓 前川光範
笛 左 鴻泰弘

附祝言

(終了予定 四時三十分頃)

後見・地謡

(後見) 林 宗一郎
河村晴久

河村浩太郎 分林道治
宮本茂樹 味方和重
橋本忠樹 河村和重
浦部幸裕 浦田保親

(地謡) 樹下千慧
浦田保浩
井上裕久
河村晴久

(後見) 梅田嘉宏
片山九郎右衛門

浦田親良 橋本光史
大江広祐 青木道喜
河村和貴 武田邦弘
大江信行 吉浪壽晃

解説

東岸居士
遠国から上洛した男の所望で、清水寺門前の男が東岸居士を呼び出す。居士とは在俗のまま仏前に帰依した修行僧の謂いで、東岸居士とは、本文中にいうように、自然居士の弟子、西岸居士は兄弟弟子である。「西岸居士」という本曲を下敷きにして書いた類曲(廢曲)も見える。彼らは喝食である。すなわち、はじめ禪家で食事忌みを触れる半僧半俗の有髪の修業者であったが、仏の供物や寺内の僧の給仕にたずさわった。降って稚児をさす語になるから、禪僧の性的対象にもなったのであろう。東岸居士は説法談儀の方便として、謡い、舞い、羯鼓を打ち、鼈(さざら)を摺る。つまり、かかる狂言綺語も讃仏乗の因ということだ。

世阿弥の「三道」に「放下には、自然居士・花月・東岸居士・西岸居士などの遊狂」とある。放下とは多く僧形の大道芸人の称である。

山姥

山姥の曲舞で名を得た遊女、百万山姥が従者を連れて善光寺に参る途中、上越路にさしかかると、突然日が暮れたように暗くなる。一同困惑するところに不思議な女が現れて宿を貸し、百万山姥に道を進め名を立てたのだから、真の山姥の身を引い、私事を為せば、我が身も輪廻を免れることができよう」と恨みを述べるこの女こそ、真の山姥であった。百万山姥が恐ろしさのあまり、乞われるままに曲舞を始めようとすると、山姥はそれを制し、月の夜夜に謡えば真の姿を現そうと言いつけて消える。(中)

山姥の謂れを里の者が語った後、一同は山姥を待つ。深山に現れた山姥は、百万山姥の曲舞につれて移り舞を舞い、山姥の本性を語る。やがて輪廻の相を見せ、山廻りして失せる。

解説者プロフィール

沖本幸子 (おきもと ゆきこ)

昭和四十九年(一九七四)、東京に生まれる。青山学院大学総合文化政策学部准教授。東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士(学術)。中世芸能、特に能大成以前の歌と舞を中心に研究している。著書に「今様の時代―変容する宮廷芸能」(東京大学出版会、平成十八年)、「乱舞の中世―白拍子・乱拍子・猿楽」(吉川弘文館、平成二十八年) などがある。

お客様へお願い

- ◆特別会員席以外の座席券は、当日正午より先着順にお引換えいたします。
- ◆開演中のお出入りはなるべく遠慮ください。
- ◆許可なき写真撮影・録音・録画はお断りいたします。
- ◆場内では携帯電話等の呼出音をお切りください。
- ◆予告なく演目や出演者が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ◆東隣には有料駐車場がございます。満車の節は岡崎公園市営地下駐車場をご利用ください。

次回予告

京都観世会九月例会(其の二)

平成30年9月23日(日)

午前11時開演

- (能) 玄象 梅若 実
- (能) 栗焼 善竹忠一郎
- (能) 半蔀 林 宗一郎
- (能) 雷電 橋本 忠樹

【表紙写真】

「山姥」片山 幽雪
金の星渡辺写真場撮影